

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)		財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
				国道 支出金	その他	一般 財源	
1	大学等による高等教育推進のための奨学金貸付事業	R 4	35,160		35,160		経済的理由により修学が困難な者に対して奨学金の貸付を行った。(第5表貸付及び償還の状況、1貸付金の表のとおり。) 【貸付人数 50人(3人減)】
		R 3	35,988		35,988		
		増減	△ 828		△ 828		
2	芦別市奨学基金運用収益積立金	R 4	23		23		基金の運用で生じた利息の積み立てを行った。
		R 3	49		49		
		増減	△ 26		△ 26		
3	芦別市奨学基金積立金	R 4	400		400		奨学基金への活用として1件40万円の寄附があり、基金への積み立てを行った。
		R 3	0				
		増減	400		400		
4	大学等による高等教育奨学金管理事務	R 4	24			24	経済的理由により大学等への修学が困難な者に対して、修学を奨励し、また、奨学金を返還中の者に対しては、適切な返還を促した。
		R 3	31			31	
		増減	△ 7			△ 7	
合 計		R 4	35,607		35,583	24	
		R 3	36,068		36,037	31	
		増減	△ 461		△ 454	△ 7	

※ 奨学金制度は、貸付金元金収入と奨学基金繰入金により運用してきたが、令和5年度において奨学基金残高がなくなり奨学資金特別会計の収支において資金不足が生じ、奨学金制度の運営に支障を来すため、不足する資金については、一般会計からの繰入れ措置を講じて収支の均衡を図り、現行制度を維持していく。

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	維持した	無	無	無	無	貸付要望に応え、奨学金の貸与を行っていく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	適切に貸付原資である奨学基金を管理していく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	適切に貸付原資である奨学基金を管理していく。	継続
高い	維持した	無	無	無	無	返還遅延者に対する督促通知等の郵送のほか、悪質な返還遅延者には厳格な対応を図るなど、管理事務を適切に実施していく。	継続

1. 必要性（市が実施しなければならない理由など）
 2. 成果（市民福祉の向上は図られているかなど）
 3. 要望（市民・団体等からの要望など）
 4. 行財政改革の取組
 (1)事務事業の休止・廃止など
 (2)コスト削減など
 (3)他の事業との統合や民間委託等
 ※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）

高い・低い
 向上した・維持した・低下した
 有・無
 有・無
 有・無
 有・無